



教科名： 法定1年点検Ⅱ

2023年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 2年 A巡

科目： 自動車整備作業

時限数： 24時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1 / 2 3	永居
FY19	シラバスメンテナンス	2/29	永居
FY20			
FY21			
FY22			
FY23			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科 2023年度

授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	法定1年点検Ⅱ		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書	発行日	2019/1/23新規		
			実習ノート(初回授業時配布)				
※注1 総時限	24時限			教科担当	長井 一真	●	■
※注2 授業時間	38.4時間				小山 純	●	■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間(50分ベース)を確保(法定合計時間1850時間(50分ベース))

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士として法定1年点検の実務経験がある教員により、法定1年点検の習熟・中間報告が実施できるよう指導する。

2. 教科の目的(この学科の狙い、目的を明確に記入)

即戦力を身に付けるために以下を実施する。

- ①法定1年点検の作業要領を理解する。
- ②法定1年点検作業手順を理解する。
- ③法定1年点検に取り入れられた接客業務を、実践に近い内容で実行して修得する。

3. 授業の到達目標(何を理解し何が出来るようになるのか)

- ①車両ごとに車両保護カバー類の取り付けが正しくできる。
- ②サークルチェックの意味を理解し、確実に車両のチェックができる。
- ③車両ごとのリフトアップポイントを理解し、安全に正しく、確実にリフトアップできる。
- ④法定1年点検の作業が正しくできる。
- ⑤法定1年点検の作業手順を理解し正確に作業できる。
- ⑥中間報告など、整備に関する説明が分かりやすく正確にできる。

4. 学習評価(期末試験での主な試験項目)

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、60点以上(工学科は70点以上)を合格とする。

試験内容

- ・実技試験 60% ①1年点検実技試験
- ・筆記試験 40% ①点検項目を区別する問題

5. 準備学習

- ・定期点検作業要領書をあらかじめ読んでおく。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

- ①法定1年点検作業を要領を理解させる。
- ②法定1年点検の手順を理解させる。
- ③不具合を設定した法定1年点検作業を、効率良く出来るようにさせる。
- ④中間報告(点検内容)を、分かりやすく説明できるようにする。
- ⑤不具合箇所を効率良く修理出来るようにする。

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	A 巡	単元	実習	教科名	法定1年点検Ⅱ
----	-----	----	----	-----	---------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	エンジン始動時	始動時必ず声掛けを行う。	回転部分で手先が巻き込まれ負傷。	
2	リフト操作	上げ下げの声掛けを行う。	リフト作動時に車両と接触。	
3	排気ガスの状態点検	排気ダクトを取り付ける。	密閉された工場内では酸欠になる。	
4	下廻り点検	安全めがね着用	目に異物が混入。	
5	足廻り、下廻り点検	作業グローブ着用	手先を怪我、火傷をする。	
6	冷却水の量点検	エンジン暖機状態では、ラジエータキャップを開けない。	冷却水が噴出し火傷をする。	

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

第1実習場



※車両はK 1 3 マーチを5台使用する。

実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。